
第 49 報 平成 25 年 6 月 18 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 生コンクリート 仙台 】

仙台地区の生コンクリートは、建築標準物(21-18-20)で m³ 当たり 1 万 4,000 円と前月比 2,000 円の大幅上伸となった。当地区協組では、県外からの骨材調達や運搬車輛の増車、プラント設備の増強などに伴うコスト増を理由に、本年当初より新年度価格の大幅値上げを表明してきた。4 月以降も需要はさらに増加しており、生コン購入は予約制という売り手市場の状況下、価格よりも生コンの確保が優先とする需要家側の姿勢もあって大幅値上げが浸透した。先行き、横ばいで推移する見通し。

【 異形棒鋼 】

原料の鉄屑価格の下落が小幅にとどまる中、悪化した採算を改善すべく、製販ともに売り腰を引き締めている。しかしながら需要家側は、目先の大型案件についてはほぼ材料手配を済ませて購買意欲が乏しく、価格交渉は難航している。

建設需要は今後とも底堅いとの見方が大勢だが、新規の引き合いは乏しくまた鉄屑相場も海外市況の軟化を背景に弱基調で推移しており、需要家側の指し値は、一層厳しさを増すとみられる。先行き、弱含みで推移する見通し。

【 セメント(バラ) 】

災害復興工事向けの需要が旺盛で、各メーカーとも工場はフル稼働に近い状況にある。ただし、運搬車両、セメントサイロの不足は続いており、新規物件については納入を辞退する場面も散見される。セメント価格値上げについては、大手メーカーの一部が 7 月からとしているため、今のところメーカー間の足並みが揃っておらず、需要家側との交渉が本格化するのは 7 月以降になる見通し。先行き、強含み横ばいで推移しよう。

【鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材工場の稼働状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる鉄鋼製品、生コン、アスファルト合材各工場の稼働状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼働状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部

TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き		
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向	
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P82~)	青森県	八戸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万3,300円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい	
	岩手県	宮古	2013年 6月号	3,200円/m3上伸 2万1,250円	6月7日		ひっ迫	横ばい	
		大船渡	—	1万4,400円	6月7日		ひっ迫	強含み	
		久慈	2012年 6月号	300円/m3上伸 1万3,500円	6月7日		ややひっ迫	強含み	
		釜石	2012年 10月号	1,400円/m3上伸 1万6700円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	6月7日	協組では、急増する生コン需要に対応すべく県外品骨材の調達や運搬車輛の増車、また、多様化する生コン品種への対応に関わる設備増強など更なるコスト増を要因とした値上げとして、4月以降の販売価格を14,000円/m3以上とすることを本年年明けより表明。生コン購入は予約制となっているなか、新年度当初より需要は更に増加し、売り手市場の状況下、価格よりも生コンの確保を優先とする需要家側の反応から2,000円/m3以上の値上げが浸透した。先行き、横ばいで推移する見通し。	ひっ迫	横ばい	
		石巻	2013年 6月号	1,600円/m3上伸 1万5,000円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	1,900円/m3上伸 1万6,800円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		気仙沼	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		亶理	2012年 12月号	2,000円/m3上昇 1万5,500円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		松島	2013年 6月号	1,600円/m3上伸 1万5,000円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		南三陸	2013年 6月号	400円/m3上伸 1万5,700円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい	
		福島県	いわき	2012年 11月号	1,000円/m3上伸 1万2,000円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
			南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	6月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P171~) ※南相馬は細 目の価格を掲 載	青森県	八戸	2013年 6月号	100円/m3上伸 3,500円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	6月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「 - 」表示	6月7日		-	-
		久慈	2012年 10月号	200円/m3上伸 3,500円	6月7日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	6月7日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2013年 6月号	200円/m3上伸 3,200円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	200円/m3上伸 3,800円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	300円/m3上伸 4,600円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2012年 10月号	300円/m3上伸 2,900円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 10月号	200円/m3上伸 2,800円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 6月号	300円/m3上伸 4,200円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	100円/m3上伸 3,600円	6月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20~5mm 骨材 単位:m3 (P171~) ※宮古は砂利 の価格を掲載	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 3,700円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	6月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 3,600円	6月7日		ひっ迫	強含み
		久慈	2012年 10月号	100円/m3上伸 3,300円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2012年 8月号	250円/m3上伸 3,400円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2013年 2月号	200円/m3上伸 3,300円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,100円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	300円/m3上伸 3,600円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,900円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2012年 3月号	500円/m3上伸 3,400円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2012年 6月号	200円/m3上伸 3,400円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 3,650円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 3,500円	6月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
再生クラッシャー 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2013年 4月号	100円/m3上伸 1,800円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2013年 3月号	100円/m3上伸 2,000円	6月7日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 3月号	200円/m3上伸 1,800円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2012年 6月号	200円/m3上伸 2,000円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2012年 6月号	100円/m3上伸 2,500円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	—	2,200円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亶理	2013年 3月号	200円/m3上伸 1,900円	6月7日		ひっ迫	強含み
		松島	2013年 3月号	200円/m3上伸 2,000円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	—	2,400円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2012年 7月号	250円/m3上伸 2,050円	6月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	6月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率)・現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298~)	青森県	八戸	—	1万2,100円	6月7日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万4,200円	6月7日		ややひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,400円	6月7日		均衡	強含み
		久慈	2012年 9月号	800円/t上伸 1万3,700円	6月7日		ややひっ迫	強含み
		釜石	2012年 9月号	1,000円/t上伸 1万3,500円	6月7日		均衡	強含み
	宮城県	仙台	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	6月7日		均衡	横ばい
		石巻	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,200円	6月7日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,500円	6月7日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,900円	6月7日		均衡	横ばい
		亘理	2013年 6月号	300円/t上伸 1万1,900円	6月7日		均衡	横ばい
		松島	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,000円	6月7日		均衡	横ばい
		南三陸	2013年 6月号	300円/t上伸 1万2,400円	6月7日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,300円	6月7日		やや緩和	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	400円/t上伸 1万2,450円	6月7日		ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9	鋼矢板	6月14日	東北地区の本設工事向け需要が旺盛なことに加え、四国や関西、九州などの西日本の太平洋側で防災対策工事向けの引き合いが増えており、需給はややひっ迫している。また、引き合いの増加に伴い、納期にもやや遅れが見られる。 メーカー側の売り腰は強く、先行き、強含み。	ややひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	6月14日	原料の鉄屑価格の下落が小幅にとどまる中、悪化した採算を改善するべく、製販ともに売り腰を引き締めている。しかし、目先の大型案件については、ほぼ材料手配を済ませている需要家側に、積極的な購買姿勢はみられず、価格交渉は難航している。 今後の建設需要は底堅いとの見方が大勢だが、足元、新規の引き合いは乏しい。加えて、足元の鉄屑相場は海外市況の軟化を背景に、弱基調で推移している。需要家側の指し値は、一層厳しさを増すとみられ、先行き、弱含み。	均衡	弱含み
	セメント	72	セメント(バラ)	6月12日	災害復興工事向けの需要が旺盛なことを受け、各メーカーの工場はフル稼働に近い状況となっている。メーカー側は供給責任を果たすべく、出荷体制を整えているものの、運搬車両、セメントサイロの不足は続いており、新規物件については納入を辞退する場面も散見される。 メーカー各社は値上げを打ち出しているが、大手メーカーの一部は7月からとしており、今のところ、メーカー間の足並みは揃っていない。そのため、価格交渉が本格化するのは7月以降になる見通し。先行き、強含み横ばいで推移しよう。	ひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	210 ～ 211	コンクリート 型枠用合板	6月10日	需要が堅調に推移しているなか、入荷量は増加しており、需給のタイト感は解消されている。産地価格の強基調が続いており、販売側では仕入れコスト上昇分の価格転嫁を進めるため、引き続き売り腰を強めている。先行き、強含みで推移する見通し。 供給体制は平常通りとなっている。	均衡	強含み
	木材	226 ～ 229	仮設・土木用 木材	6月10日	沿岸部では海岸堤防(防潮堤)向けに一時的にまとまった数量は見られるものの、逼迫するほどでは無く、今のところ供給能力に問題ない。価格は、輸入材が円安の影響で値上がりし、国内産も値上げ機運が高まっているが、市場への浸透までには至らず、目先強含み横ばいの見通し。	均衡	強含み横ばい
230 ～ 237		一般建築用 木材	6月10日	一般住宅向け需要は、震災復興住宅向けや、消費税増税を見越した引き合いから、荷動きは堅調となっている。今のところ供給能力の問題は無い模様。価格は輸入材値上げも後押しし、国内産はジリ高傾向だが、市場への浸透は今しばらく時間がかかるものと思われる。先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	均衡	強含み横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	250～252	石油製品	6月14日	<p>原油価格は、小幅な騰落を繰り返す展開となっている。元売卸価格は円安の影響もあり、石油製品全般で引き上げられた。しかし、足元の需要に盛り上がりや欠中、流通側は数量重視の販売姿勢を見せており、灯油以外、価格は下落。流通側の価格競争は依然として続くとの見方が大勢であり、産業用中間三品のうち、灯油を除き先行き、弱含み。</p> <p>JX仙台製油所、コスモ石油千葉製油所は平成24年3月末までに稼働を再開。これにより東日本大震災の影響で稼働を停止していた製油所はなくなり、供給面では通常の体制に戻っている。</p>	やや緩和	弱含み
	仮設関連資材	254(販売) 278(リース)	仮設足場	6月17日	<p>東北地区は復興需要から民需・官需とも例年に比べ好調に推移している。供給体制は今後も問題ない見通し。</p>	均衡	横ばい
	各種 賃貸料金	265 ～ 273	建設機械器具 賃貸料金	6月14日	<p>福島地区では、除染関連の引き合いを中心に推移している。バックホウ、高所作業車、ダンプをはじめ、除染作業及び汚染土砂の作業に伴う機械が活発だが、一時よりはひっ迫感は緩和している。市況は需要の緩和を受け、目先横ばいで推移する見通し。</p>	ややひっ迫	横ばい
		274 ～ 277	仮設鋼材 賃貸料金	6月14日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】 震災復興工事の発注は計画の見直しなどで当初見込みより遅れている。今後、平成25年9月頃に工事発注が重なる見込みで、需要のピークを迎えるとみられる。東北地区における資材の稼働率は依然として高く、需給がひっ迫している状況に変わりはないものの、需要のピークを迎える時期までは通常体制で供給できる見通し。目先、市況は横ばいで推移する見通し。</p> <p>【敷き鉄板】 東北地区は復興関連の大口需要により荷動きは好調。一部物件で供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、保有量が多い関東地区も、需要は堅調に推移しており、需給は総じて引き締まっている。 先行きも、被災地での需給はひっ迫した状況で推移する見通し。</p>	ひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	295	ストレートアスファルト	6月14日	<p>高速道など震災復興の舗装工事が一段落したとの見方から、東北地区における需要は前年に比べ落ち着く見通し。政府による景気刺激策への期待から、全国的な需給見通しについては強気な見方が多い。</p> <p>供給体制に大きな変化はない。価格は春先の原油調達コスト高を反映して上伸したが、為替水準が1\$=95円近辺まで戻しており、当面、続伸は避けられそう。</p>	均衡	横ばい
建築資材	内外装材	572	針葉樹 構造用合板	6月10日	<p>需要は引き続き堅調に推移しており、在庫量は月毎に減少している。先行き、強含みで推移する見通し。</p> <p>被災した工場は、事業停止となった2工場を除いて稼動を再開しており、全品目について生産体制は平常通りとなっている。</p>	ややひっ迫	強含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	6月14日	<p>東北地区は復興関連需要を中心に荷動きは堅調ながら、全体需要を牽引するような数量は出ていない。復興関連需要が本格化する時期も不透明で、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。</p> <p>供給体制についても、現時点では問題なく、平常どおりの供給が可能。</p>	均衡	弱含み
機械設備資材	配管材	782	硬質ポリ塩化 ビニル管	6月13日	<p>下水道関連に加え、一部では公営住宅等でも荷動きがあるものの、震災復興関連の本格的な需要はまだ先の見込み。メーカーは原料価格上昇を理由に値上げを打ち出しているが、実需の盛り上がりには乏しい上に、旧価格で卸された市中在庫の量も多く、値上げは浸透していない。</p> <p>供給体制そのものに問題はみられない。</p>	均衡	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ~ 9	6月10日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、新年度入り後も旧年度工事の工期延長が続き、活況を呈している状況。新年度発注は、端境期で一時的にとぎれ、鉄筋工の慢性的な労務不足は、いったん落ち着きを見せているが、先行きは依然として不透明。専門工事業者側では、これまで長年にわたって下落してきた単価を、社会保険未加入分も含めて本来の水準に戻したい意向で、値上げ要請を強めている。今後も、宮城の火力発電所建設など、大型物件による需要増で、強基調で推移しよう。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	414 ~ 417	6月14日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、県など自治体発注も含めて、引き続き多くの復旧復興関連工事が進められている。新年度に入り、労務不足の状況は落ち着きを見せつつあるが、今後、内陸部の建築および土木工事の増加とともに、再度ひっ迫することも予想される。一部工事では前年度から続く工期延長、設計労務単価上昇などの要因が重なり、工事費相場は専門工事業者優位の堅調な相場形成が続くとみられ、今後も強含みで推移する公算が大きい。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠工 (材工共)	422 ~ 425	6月13日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾施設では、依然として工事量が多い状況が続いているが、工期延長等を含め継続案件が多く、新年度に入ってから工事発注はこれからの状況。そのため型枠工における労務者および型枠材の調達状況は、現在のところ落ち着きを見せている。一方で設計労務単価上昇の影響により、専門工事業者からの値上げ要請が強まっていることから相場は堅調。先行き、新年度向けの工事量の増加も考えられるため型枠工相場は強含みでの推移となりそう。	ややひっ迫	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	6月10日	被害のあった沿岸部では、物流倉庫や水産加工場などの物件が見られ、また、内陸部では、学校関連や復興公営住宅などの需要が堅調に推移。専門工事業者側では、慢性的な職人不足に対し、隣県からの協力体制が見られるものの、総合工事業者側では、依然として職人確保に苦慮している。市況は引き続き、強含み推移。	ややひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	6月10日	沿岸地域では、水産加工の工場や冷凍・冷蔵倉庫等の建設に加えて、病院や学校の耐震改修工事、公営住宅の新設工事等が発注されている。市内中心部においても、住居・オフィスビルの改修工事や、新築工事案件が本格化している。 需要が堅調に推移している中、型枠工の不足感は依然として解消されていないものの、専門工事業者の手持ち工事量はやや減少する兆しが見られ相場は一服状態。しかしながら、職人の調達コストは上昇しており、専門工事業者側は値上げを一層強めていく構え。夏場以降、再び需給がひっ迫するとみられ、先行きの市況は、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み